

小さな目標の達成を目指そう

新たな自分探しの旅へ

笑輝

第1号
加賀中学校
校長室

学校経営方針

本日、1学期始業式が行われ、令和8年度がスタートしました。4月10日の入学式で、70名の新生が入学してきました。本年度は、全校生徒208名、教職員35名でのスタートとなります。

さて、私は本年度、加賀中学校に着任しました。校長の田野利昭と申します。どうぞ、よろしくお願ひします。

まずは、本年度の学校経営方針について説明します。本年度の最上位目標は「生徒たちの学校満足度の高い学校づくり」です。「学校が楽しい」「明日も学校に行きたい」など、学校満足度の高い学校づくりを目指していきます。

そのために、①教職員が「チーム加賀中」として一丸となって取り組んでいきます。②生徒の居場所づくりに力を入れ、生徒相互・生徒と教職員の間に温かい人間関係を

構築し、支持的風土のある学校づくりを進めていきます。③生徒の社会的自立を促すために、発達支持的生徒指導を機能させます。④日々の学習内容の定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現を目指します。⑤一人ひとりの個性を輝かせるために、多様性を大切にします。



本日は、まず、着任式を行い6名の新しい先生方の紹介がありました。その後、1学期始業式を行いました。新学期に当たり、私からは、大きな目標を達成するためには、あれもこれも色々やろうとしないので、何か一つに決めることが大切であると伝えました。

目標は小さく

以下、式辞の一部を紹介いたします。

あるカメラ屋さんの話です。そのお店の店長さんは、カメラが好きでカメラ屋を始め、たくさんの人に喜んでもらえるようなお店にし、店の規模も大きくしていきたいという目標を立てました。

しかし、なかなか商売が繁盛しませんでした。悩んだ店長さんは、同じ地域にあるカメラ屋さんの様子を見に行ったらどうですか。すると、自分の店よりかなり小さいのに、とても繁盛していることに驚きました。店長さんはさらに悩みました。「なぜ、自分のお店にはお客が来ないのだろうか」と

そして、自分の店と繁盛している店の違いに気づきました。それは、自分の店は、カメラが売れないのでカメラ以外の電化製品も取り扱っていることでした。カメラ屋と言いつつ、カメラ専門店ではなかったわけです。そこで店長さんは、カメラ以外の電化製品を処分しました。そして、カメラはカメラでも当時人気が出だしたビデオカメラだけを取り扱う店にしました。さらに、ビデオカメラの中でも最も人気のあるメーカーだけのビデオカメラを扱うことにしました。すると、お客さんが増え続け、地域ナンバーワンのお店になったそうです。

目標です。しかし、何をすればよいのかがいまいです。そこで、まずは「社会科で90点以上」とするという目標にするのです。そして、さらに絞って、「地理的分野で90点以上」を目標にすることです。そうすることで、何をすべきかが明確になります。何をすべきかが明確となれば、例えば、まず苦手な、「ヨーロッパ」をマスターしようとなります。この積み重ねが、「テストで90点以上」とするという目標に近づいていくのです。

今日から始まる1年間、小さな目標をたくさん達成し、大きく成長する1年にしてください。応援しています。

生徒のみなさんへ

始業式でも伝えましたが、校長室を生徒のみなさんに開放します。時間がある時に、いつでも遊びに来てください。中学生の皆さんが、どんなことを考えているのか、たくさん聞いてみたいのです。教えてください。お待ちしています。何もない校長室ですが・・・